(No.07H0136)

# 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

## 【事例概要について】

| | |
|---|---|
| **1．事故・ヒヤリハットの別** | ヒヤリ |
| **2．体験した事例の名称** | 火災出動中の赤色回転灯の不点灯による交差点進入 |
| **3．体験した事例の中心的要素** | それまで出動していた車両と操作が違うため指揮者と機関員とが出動に伴う操作に注意力が欠如したため、回転灯が不点灯のまま、サイレン吹鳴して出動した。このため直近の赤点灯の交差点に進入しようとして一般車が停止、徐行しないことに不審を抱いて自車の回転灯不点灯に気が付いた。 |
| **4．体験した事例の原因・理由** | 人事異動による配置換えで車両の操作方法等に熟知していなかったため。 |

## 【体験した事例の直接的原因について】

| | |
|---|---|
| **1．体験した事例の直接的な原因** | 情報入力に問題があった。 |

## 【体験した事例について】

| | |
|---|---|
| **1．発生日時** | **平成** 19 **年** 5 **月** 14 **日**　　**午前** 11 **時頃** |
| **2．発生した当時の天候** | 晴 |
| **3．発生した活動現場** | 屋外：県道交差点内 |
| **4．体験した事例の種類** | 回答者が、他人を負傷させた。 |
| **5．事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）** | 重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。 |
| **6．どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）** | 交通事故、 |
| **7．事例体験時の活動** | 火災、出動途上、　[　] |
| **8．（7の活動中）どのような作業中に発生したか** | |
| **9．同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。** | これまでに1，2回程度体験している。 |

**１０．ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者Ａ）**

| | |
|---|---|
| **○当事者Ａ** | 年齢[ 51 ]歳、 勤続年数[ 33 ]年、 現場経験年数[ 33 ] 年、 階級[ 消防司令 ]、同様の活動 [ 過去に１,２回程 ]、 任務 [ 車長 ] |
| **○当事者Ｂ** | 年齢[ 27 ]歳、 勤続年数[ 5 ]年、 現場経験年数[ 5 ]年、 階級[ 消防副士長 ]、同様の活動 [ 初めて ]、 任務 [ 機関員 ] |
| **○当事者Ｃ** | 年齢[ 53 ]歳、 勤続年数[ 35 ]年、 現場経験年数[ 35 ]年、 階級[ 消防司令補 ]、同様の活動 [ 初めて ]、 任務 [ 隊員 ] |
| **その他<br>(当事者が４人以上の場合)** | |

**１１．事例発生の経過。** ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

| | 誰(何)が | なにをした | その他・備考など |
|---|---|---|---|
| **経過１** | 指揮者Ａ | 無線を開局し発生場所を隊員とともに再確認し、サイレンアンプのスイッチを操作した。 | |
| **経過２** | 運転者Ｂ | エンジンを始動させ前照灯等の操作行い、発生場所を再確認し出動した。（回転灯のスイッチは操作しなかった。） | |
| **経過３** | 隊員Ｃ | 発生場所を再確認し出動車両の後部座席に乗車した。 | |
| **経過４** | | | |
| **経過５** | | | |
| **経過６** | | | |
| **経過７** | | | |
| **経過８** | | | |
| **経過９** | | | |
| **経過 10** | | | |

## 【その事例発生時の状況について】

**○事故の場合　　：事故が起きたのはどうしてだと思うか？**
**ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？**

危険情報を把握、予見できた。集中力、注意力があった。周囲の視界が確保できていた。現場周辺の地理を知っていた。

**○心理・体調について**

**ａ．あせりを感じていた**

| | |
|---|---|
| **・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。** | はい |
| **・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。** | いいえ |
| **・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。** | いいえ |

**ｂ．注意力が欠如していた**

| | |
|---|---|
| **・１つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。** | はい |
| **・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。** | いいえ |
| **・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。** | いいえ |

**ｃ．経験・知識が不足していた。**

| | |
|---|---|
| **・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。** | いいえ |
| **・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。** | いいえ |
| **・活動に対する経験が不足していた。** | いいえ |

**ｄ．心身の不調があった**

| | |
|---|---|
| **・体調が悪かった。** | いいえ |
| **・悩み事があった。** | いいえ |

**○装備・資機材について**

**ｅ．資機材の故障・不具合があった。**

| | |
|---|---|
| **・装備・資機材自体に問題があった。** | いいえ |
| **・装備・資機材の使用方法が誤っていた。** | はい |
| **・装備・資機材の対処能力を超えていた。** | いいえ |
| **・必要とする装備・資機材がなかった。** | いいえ |

**○活動環境について**

**ｆ．障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。**

| | |
|---|---|
| **・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。** | いいえ |
| **・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。** | いいえ |

**ｇ．行動しにくい環境だった。**

| | |
|---|---|
| **・狭隘な場所であった。** | いいえ |
| **・暑かった（寒かった）。** | いいえ |
| **・野次馬が多かった。** | いいえ |
| **・現場周辺の地理に不案内だった。** | いいえ |

**ｈ．足場が悪かった。**

| | |
|---|---|
| **・足元が躓いたり滑りやすかった。** | いいえ |
| **・足元の強度が不足していた。** | いいえ |

**○指揮・管理について**

**ｉ．適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。**

| | |
|---|---|
| **・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）** | いいえ |
| **・指示内容に誤り・偏りがあった。** | はい |
| **・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）** | いいえ |

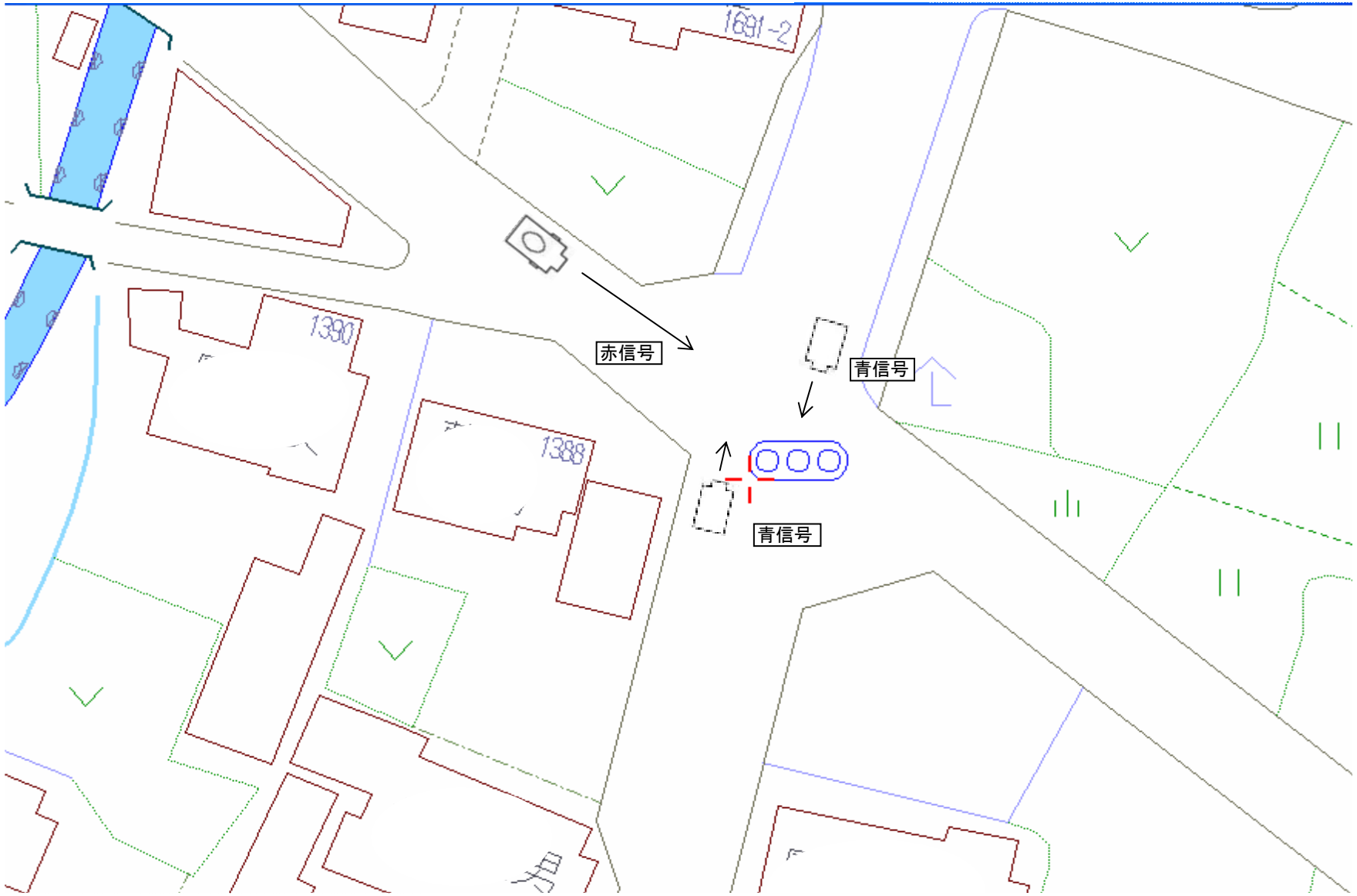
**ｋ．関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。**

| | |
|---|---|
| **・隊員の連携が不十分だった。** | はい |
| **・隊員が不足していた。** | いいえ |

**○その他**

**ｌ．その他の理由があった。**

| |
|---|
| はい：新しい車両はサイレン吹鳴スイッチと回転灯が連動して作動するため、新しい車両の操作と同じと勘違いしてしまった。 |


1691-2
1390
1388
赤信号
青信号
青信号